

仙台市議会議員(泉区選出)4期

橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告【2018 Vol.3】

〒981-3213
仙台市泉区南中山3丁目4-24
TEL(022)773-3083
FAX(022)376-5232
Email: hashihashi@nekketsu.net



皆様、こんにちは。地方議員の一員として、市民にとって政治はどうあるべきか。正しいことは何か。日々考えながら活動しております。私はこれからも多くの方が夢を持ち、安心して暮らせる、そんな仙台を創る為立ち止まることなく行動して参ります。

身近な市政情報

1 地域ごみ出し支援活動促進事業が始まりました

〈事業概要〉

平成30年10月からごみ出しが困難な一定の要件を満たす、高齢者や障害者への支援としてごみ出し活動団体へ奨励金が交付されます。

〈申請団体〉

町内会や老人クラブ、PTA、子供会、ボランティア団体等の非営利活動団体です。

〈奨励金・期間〉

ごみ出し1回当たり140円/世帯

交付の上限金額は48,000円です。

これは平成30年10月から年度内を期間とする為です。

※「家庭ごみ」「プラ製容器包装」「缶・びん・ペットボトル」「紙類」が対象です。

〈奨励金交付対象者〉

仙台市内居住者で、一人暮らしの方か下記の要件を満たす方です。

- (1) 介護保険要介護1から5の認定を受けている方
- (2) 身体障害者手帳交付を受けている方
- (3) 療育手帳の交付を受けている方
- (4) 精神障害者保険福祉手帳交付を受けている方

お問い合わせ先

仙台市環境局家庭ごみ減量課

電話022-214-8226 FAX022-214-8277

★議会における私の提案により実現致しました。

2 住民等自動交付機が稼働終了することになりました

各区役所・総合支所に設置している住民票等自動交付機が新たな機器の調達が困難な為、平成31年12月末をもって稼働を終了することとなりました。

1. 自動交付機の概要

「せんだい市民カード」所有者が「住民票の写し」「印鑑登録証明書」「戸籍証明」を取得できる約43万人の方々

2. 稼働継続できない理由

現行の機械のサポートが平成32年1月で終了となること。そして機器製造業者において新しい機種が開発されていないこと。

3. 市民の皆様への周知等

・自動交付機設置周辺の方々への通知発送

・市政だよりやチラシ、ポスター、バス・地下鉄での広告掲載

・コンビニでの交付可能なマイナンバーカードの交付の促進を行う

お問い合わせ先

仙台市市民局協働まちづくり推進部区政課

電話022-214-6124

3 仙台市におけるジャイアントパンダ誘致の進捗状況

(1) 平成23年3月

東日本大震災発生

(2) 平成23年9月

奥山市長(当時)が駐日中国大使へジャイアントパンダ貸与の希望を伝える

(3) 平成23年12月

野田首相(当時)が温家宝首相(当時)の会談の場で温首相からジャイアントパンダ貸与について前向きな発言

(4) 平成29年6月

ジャニーズ芸能事務所が立ち上げた「(一財)マーチング」財団からパンダ導入についての支援表明を受ける

(5) 平成30年10月

安倍首相と李克強首相の会談で新たなジャイアントパンダの日本側への貸与に向けた協議の推進が合意される。

なお、日本国内では本市以外に神戸市が誘致について希望しております。

※(一財)マーチング財団からの支援内容

・ジャイアントパンダ舎の建設費用

・ジャイアントパンダの輸送費用

・飼育開始から5年間のパンダ保護資金、損害賠償保険料、エサ等の飼料調達費用

4 2019年10月から開始される「幼児教育・保育の無償化」による仙台市の影響額(想定)をお知らせします

(1) 仙台市における幼児教育・保育の無償化の影響額は概算で約57.5億円を見込んでおり、国が示した負担割合で算定すると、その内約27.3億円となる予定です。

橋本けいいちプロフィール

○仙台市議会議会運営委員長

○新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会副委員長

○仙台市農業委員

○仙台市廃棄物対策審議会委員

○仙台市介護保険審議会委員

○仙台市景観総合審議会委員

○仙台市スポーツ市議の会会長

○仙台ウォーキング協会理事

○仙台市議会市民教育委員会委員

○仙台・東北フィジー共和国経済文化交流協会会長

昭和41年仙台市泉区生まれ

宮城県仙台第三高等学校卒

東北学院大学法学部卒

- (2)施設類型別の仙台市負担としては
- ・私立保育所や認定こども園等の新制度移行園として4.2億円
 - ※保育所等の運営に必要な行政が新たに負担すべき経費
 - ・公立保育所として2.7億円
 - ・従来制度の幼稚園に15.5億円
 - ・認可外保育施設等のその他の保育サービスとして3.5億円
 - ・無償化によって新たに発生する人件費等の事務費として1.4億円
- 以上の制度が円滑に行う為に必要経費の確保だけでなく、地元選出国會議員への更なる必要経費の交付要請を行っております。

〈参考〉

○本市における待機児童の状況

(人)

	H28年4月	H29年4月	H30年4月
青葉区	41	47	9
宮城野区	62	45	39
若林区	15	23	12
太白区	44	103	67

	H28年4月	H29年4月	H30年4月
泉区	51	14	11
合計	213	232	138

○幼稚園・認定子ども園の数

制度	施設形態	園数
従来制度	①私学助成を受ける私立幼稚園	72
	②従来制度の国公立幼稚園	1
新制度	③施設型給付を受ける私立幼稚園	7
	④新制度の国公立幼稚園	1
認定子ども園	⑤幼稚園型認定子ども園	4
	⑥幼保連携型認定子ども園(幼稚園由来)	10
	⑦幼保連携型認定子ども園(保育所由来)	2

(3)平成30年度の取り組み

- ・幼稚園の長時間の預かり保育を支援することにより、私立幼稚園が卒園後の受け皿となる環境を整備し、3歳以降の保育の場の確保を図り、小規模保育事業等の利用を促進し、預かり保育の本市独自補助(連携施設設定加算)を実施します。
- (4)家庭や地域、幼稚園、保育所及び認定子ども園において、充実した幼児教育が図られるよう、「仙台市幼児教育の指針」が策定されました。

仙台市議会 平成30年度決算等審査特別委員会質疑・答弁(要約)

国際センター駅上部施設等の市民利用施設の民間活力導入について

橋本の質問 国際センター駅上部施設は地下鉄東西線国際センター駅舎と合築された施設であり、多目的スペース・屋外テラスや芝生広場などを設け、完成後は普通財産として市民局所管であります。観光や交流の魅力を高める取り組み、そして賑わいづくり交流促進として活用とされているが、なぜ市民局所管なのか。

答弁 建設当時、地下鉄東西線開業にむけての気運醸成と沿線の賑わいづくりを市民局が担当しておりましたことです。

橋本の質問 施設の運営方法と現在の委託した経緯、契約内容をお示し下さい。

答弁 施設運営を仙台国際センターの指定管理者である「青葉山コンソーシアム」に業務委託しております。委託の経緯ですが隣接する国際センターを会場として利用されるイベント等の主催者にあわせて利用されることを想定し、「青葉山コンソーシアム」に随意契約することと致しました。施設の貸出等の人件費相当分として1958万円、施設の維持管理相当分として711万円となっています。

橋本の質問 これまで随意契約を繰り返してきたことの認識と過去3年間の利用状況を伺う。

答弁 駅2階の開放空間となっており、どう利用されるのか検証を行う為平成28年度末まで運用期間という位置付けとなり又、夏の室温対策が生じた為平成29年度も引き続き随意契約となったものです。平成27年度は稼働率35%、利用人数約21000人、28年度は53%、約17000人、29年度は59%、約46000人となっております。

橋本の質問 営利目的の利用を制限して無料で貸し出してきたが、使用料を徴収して市の支出を減らす手法をとらなかったのはなぜか。

答弁 特色ある空間である為、本施設の活用方法を探る為、利用に対するハードルを下げ自由な発想で多くの利用をいただこうとしたものです。

橋本の質問 無料とする検証期間が長すぎるのではないですか。もっと早期に民間運営に移行すべきだと思いますが、何が課題なのか。又、その認識はあるか。

答弁 本施設は東西線開業と共にオープンし供用してきました。この間様々な制約を解消する為の対策を講じながら施設のあり方を検討してきたものであります。

橋本の質問 これまでの運営から180度方向転換して運営事業者を公募することとした理由は何か。

答弁 有償で貸出を行うことができる状況が整ったと

の認識と本年3月に実施した「民間事業者との対話」の結果から、民間主体の事業が成り立つと判断したものです。

橋本の質問 現在は人件費、施設維持管理費、光熱水費、PR費など全てが市の持ち出しだが、今回の公募はそれぞれ民間に負わせる一方で、賃貸料も徴収することになっているが、この理由はいかなるものか。

答弁 これまでは暫定的な運用である為、施設運営管理にかかる経費を市が負担し、各件整備したものです。今回貸与する面積を事業収益が期待できる部分に限定し、光熱水費の一部を引き続き市が負担するなどの条件設定を工夫したものです。

橋本の質問 「事業者との対話」の内容とどういった提案や意見があったのか。

答弁 応募があった5つの事業者に参加いただき、個別のヒアリングを行いました。施設で行う事業のアイデアや多目的スペース、インフォメーションコーナーの活用方法について提案がありました。又市の負担を希望する意見等であります。

橋本の質問 こういった提案や意見をどう公募条件に反映させたのか。又「青葉の風クラス」名称などの取り扱いをどうするか。

答弁 貸付料は算定にかかる面積を限定する等の工夫をし、貸付期間を最大で9年とすることとしました。又設備保守点検等の維持管理費用も負担致します。現在の愛称は市民公募により決定したもので、一定の定着がみられるものですが今後の名称については事業者と決定して参ります。

橋本の質問 公募の目的を明確にしておくことが大切だと考えるものだが、民間運営の賑わいづくりなのか、それとも歳入アップを目指すのか。

答弁 観光や交流の魅力を高める取り組みと賑わいづくり交流促進を図る場としての目的を果たせるよう、民間の柔軟な発想を活かしたものにしたいと思いません。加え市有財産を有効活用して歳入アップにも取り組みたいと考えます。

橋本の質問 今回の公募にあたり利用申し込みの受け付けが一時中止しているが市民利用者が戸惑うことのないように対応を求める。

答弁 利用受け付けの一時中止についてブログやホームページで周知している。新たな運営体制及び利用予約等の手法が定まった後、周知を図って参ります。

橋本の質問 基本方針策定から5年、施設オープンから3年が経過した。東西線沿線の街づくりに市民局が大きく関わってきたが、取り組みの成果と評価を伺う。

答弁 これまで市民の皆様や企業・NPO・教育機関など多様な主体との協働により促進し、一定の成果を生み出したものと考えます。今後事業の効果を検証し、必要な見直しを行い取り組んで参ります。



決算等審査特別委員会の質疑状況

平成30年度第2回仙台市景観総合審議会質疑・応答(要約)

広瀬川に架かる大橋の防護柵のかさ上げについて

橋本の質問 大橋は昭和13年に今の橋が架けられたことですが80年間かさ上げしなかったのになぜ今行うこととなったのか。

答弁 本市の橋梁の長寿命化計画に基づき、大規模な修繕にあわせて行うものです。

橋本の質問 この大橋の欄干の高さによる事故はこれまで発生していますか。又、七夕花火大会での通行に対する

安全対応はどう対応してきたのか。

答弁 平成26年に転落事故が1件発生しています。七夕花火の際は通行規制しております。

橋本の質問 今回、青葉山公園整備に合わせ設置することですが、私としてはやはり、あるがままの姿が美しいと思うものです。改修工事を行う前に自転車のスピードを落とすとか車道を走るとか注意喚起するなど、やるべきことがあるのではないですか。

【答弁】 観光バスなどの大型車両の通行があり、歩行者と車両の通行を維持する為にも、歩行者の安全確保という点で防護柵を現行基準に合わせる必要があると認識しております。

【橋本の質問】 耐震補強対策は施されているものの、当然これらの施設は老朽化が進みます。今回行う修繕の材料・重量は検討されているのか。

【答弁】 橋本体と同じコンクリート製で同じ色で仕上げます。橋に影響を与えない程度と考えております。

【橋本の質問】 大橋と同じ基準でつくられた新潟市の萬代橋があり、かさ上げを行っていないと理解しているが、これとどう違うのか。又大橋も同様に文化財として登録されていることもある。もう少し議論しても良いのではないか。

【答弁】 萬代橋は国道として整備され、歩道の幅員が4mあり、大橋の2倍あることから防護柵のかさ上げを見送る判断をされたと考えます。文化的価値についても高欄のかさ上げをしたとしても価値がなくなるものかと確信しています。歩道を広げる現状を踏まえ安全性を高めていきたいと考えます。

【橋本の提案】 仙台市の景観について取り組んでいる団体や地元町内会の方々に丁寧にご説明し、ご意見を伺いより安全対策を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

質問内容と答弁の詳細については、仙台市議会のホームページからご覧いただけます。
仙台市議会ホームページアドレス
<http://www.gikai.city.sendai.jp>

活動レポート



2018年9月
仙台市議会議員でつくる「仙台空港・仙台塩釜港整備促進議連」幹事長として、仙台国際空港整備状況と民営化による取り組みについて調査を行いました。新たに整備が進められているLCCの出発ロビーや民営化による利点、そして24時間化への課題などの意見が交わされました。



2018年9月
「少年の主張泉区大会」が開催され今年も泉区内の各中学校の代表の17名が集い、とても熱い思いを自分の言葉にのせ発表されました。中学生が考える社会への疑問、将来の夢、そして希望など青少年への理解を深める貴重な機会となりました。この子供達の声にどう応えるかが問われています。



2018年10月
今年も地元での災害訓練が開催され消防局と地元消防団の方々により、日頃の備えや地域での連携のあり方、そして救急措置等を改めて体験致しました。地域でできることは何か。地域がするべきことをどうするか。一人一人が真剣に取り組んでおりました。



2018年10月
市内の教育関連団体より仙台市八木山動物公園(ZOOパラダイス八木山)に対して、動物園の動物飼育環境改善の為の支援(寄付)をいただくことになり、団体と動物園の橋渡し役を務めさせていただく機会を得ました。動物達の為に活かしていきたいと思えます。



2018年10月
宮城県整備業協会主催の「整備業セキュリティフェア」を視察調査致しました。協会では社会や地域における安全安心の取り組みやその姿を広く知ってもらう為に取り組んでおります。災害緊急援助の訓練が披露され、多くの市民の方々と共に体験を通し一緒に行動する機会をいただきました。



2018年11月
第39回目となる「仙台市泉区民俗文化祭」が開催され、地域で活動する団体や在仙の大学サークルなど多くの参加がありました。民謡や各種音楽や踊り・ダンスが披露された舞台発表、力作ぞろいの絵画や書道などの作品展示など日頃の成果が発表されました。又一緒に考えるワークショップコーナーもあり、私も視察し、生涯学習のあり方や生きがいづくりなど多くのお話を伺うことができました。



2018年11月
市議会市民教育委員会委員としてさいたま市消防局を視察致しました。「消防緊急情報システム」導入による効果や市内監視カメラと通報現場モニターなどが一体となった新しいシステムの有効性について意見交換を行うことができました。更に広域的な防災協定のあり方についての重要性について改めて認識致しました。



2018年11月
見て、学んで、一緒に学ぶ「仙台市ガスフェア」に伺いました。仙台市が取り組む都市ガスの利便性・快適性・環境性について市民に広く知ってもらう必要性を感じました。ガス局事業のPRコーナーや安全安心コーナー、ステージイベントなど通してガスの魅力を多くの市民の方々が体験しておりました。

皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。

TEL(022)773-3083 FAX(022)376-5232 Eメール : hashihashi@nekketsu.net